

これから先、様々な場面で英語が必要となる時代が来るでしょう。新しい大学入試もそのことに対応して変わろうとしています。そこで、今回は本校の特色である英語の授業について紹介します。

2年生のパフォーマンステストの様子です。狙いは2つあり、その1つは「即時性」です。決められたパターンではなく、一定の時間、ある話題について繋がりのある会話ができるかをみています。もう1つは、「自分の考えを理由とともに話せるか」です。咄嗟に与えられた2つの中から1つを選び、「なぜそれを選んだか」を答えられるかをみています。いっさい日本語は使わず、英語だけでやりとりをしています。



3年生の高校への接続を図る授業です。高校英語ではまず語彙力が大事です。中学では約1,500語程度しか学びませんが、大学入試では4,500語程度は必要であり、早くマスターすることで英文がしっかり読めるようになることを確認しました。

その後はリーディングの練習です。英文をその意味なども考えながら体に染み込ませることが重要であり、高校でやる様々なパターンでリーディングをしました。

高校レベルの英文を、ほぼオールイングリッシュでかなりのスピードで演習しましたが、生徒達は目と口と頭をフルに使って取り組んでいました。



[前にある英文を見ないで読んでいます]



[パートに分かれて英文を読み合っています]

この他、錦丘中学では今年度より、全員が年1回は英検を受検することにしました。現在、2級に9人、準2級に81人、3級に115人合格しています(全校357人)。

また夏休み、希望者を対象に福島県のブリティッシュヒルズにおいて、英語漬けの研修を実施しました。(HPの学校日誌でその様子をご覧になれます)